

2016
夏

花火×化学



花火と化学の深い関係をご紹介します。
くわしくは裏面をご覧ください。

大阪市立科学館 主任学芸員
岳川有紀子

大阪天満宮 禰宜
岸本政夫氏

葛城煙火株式会社 花火師
古賀章広氏

大阪市立科学館 <http://www.sci-museum.jp/>

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-2-1 電話 06-6444-5656

開館時間 9:30～17:00
(展示場の入場は16:30まで／プラネタリウム最終投影は16:00から)

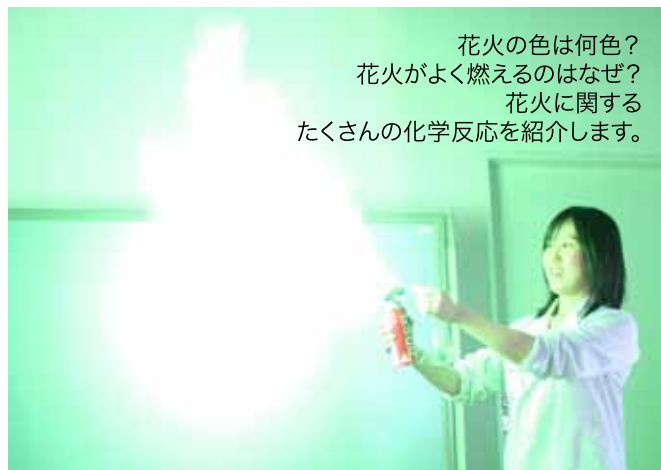
休館日 毎週月曜日 (7月18日、8月15日は開館)、7月19日(火)
臨時休館日 5月31日(火)～6月2日(木)



地下鉄 四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
京 阪 中之島線「渡辺橋駅」2号出口から南西へ約400m

花火の化学、大実験！

6月3日(金)～8月28日(日)



花火の色は何色？
花火がよく燃えるのはなぜ？
花火に関する
たくさんの化学反応を紹介します。

- 開演時刻(各回約30分間)
平日(火～金曜日)(1)10:00 (2)11:00 (3)13:00 (4)14:00
青字は予約団体専用
土・日曜日、祝日および、7/20～8/26
(1)11:00 (2)13:00 (3)14:00 (4)15:00
- 場 所:大阪市立科学館 展示場3階 サイエンスショーコーナー
- 料 金:展示場観覧券が必要です(大人400円、高・大生300円、中学生以下無料)
- 定 員:各回約100名(先着順)
- 企画・制作:岳川有紀子(大阪市立科学館主任学芸員)

大阪と花火の化学展

6月3日(金)～8月28日(日)

9:30～17:00(展示場入場は16:30まで)

美しい花火。花火には、燃焼、爆発、炎色反応など、たくさんの化学が詰まっています。そして大阪は、千年以上続く天神祭の奉納花火が有名です。大阪での花火の歴史を振り返りながら、花火の化学やしぐみを実物資料などでご紹介します。



- 場 所:大阪市立科学館 展示場3階
- 観覧料:展示場観覧券が必要です(大人400円、高・大生300円、中学生以下無料)
- 企画・制作:岳川有紀子(大阪市立科学館主任学芸員)
- 主 催:大阪市立科学館
協 力:大阪市立中央図書館、大阪天満宮、葛城煙火株式会社

大阪と花火の化学講演会

8月10日(水) 14:00～16:30

花火の美しい色や光はどうやって出すの？花火はどうやって作るの？天神祭の花火の裏側は？…などについて、科学館の化学担当学芸員と花火師、そして大阪天満宮の神職が、楽しく詳しくご紹介します。これまでよりも、もっと花火を楽しめるようになるはず!!



大阪天満宮 欄宣
岸本政夫氏



「天神祭奉納花火の裏側(仮題)」

- 場 所:大阪市立科学館 研修室ほか
- 対 象:小学5年生～一般 ●定員:100名(応募多数時抽選)
- 参加費:ひとり500円
- 応募方法:往復ハガキに、席が必要な方全員の、住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を記入し、大阪市立科学館「花火の講演会」係へ
- 申し込み締め切り:7月28日(木)必着
- 企 画:岳川有紀子(大阪市立科学館主任学芸員)
- 主 催:大阪市立科学館 協 力:大阪天満宮、葛城煙火株式会社

葛城煙火株式会社 花火師
古賀章広氏



「花火の世界(仮題)」

大阪市立科学館 主任学芸員

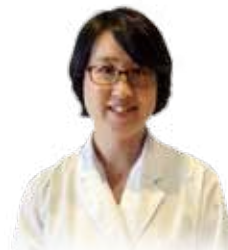
岳川有紀子



「花火の化学
—実験を交えて—」

花火×化学イベント企画

岳川有紀子主任学芸員からみなさんへ



花火の美しさを演出している化学反応に感動して、2000年にオリジナルのサイエンスショー「花火の大実験」を開発。それ以来、実験や企画展などで一味違う花火の楽しみ方をお伝えしてきました。花火はとても美しいものです。美しいと感じるだけでなく、その原理となる化学を知ること、花火の楽しみ方に「化学」という新しい文化を広めていければと思っています。

ミニブック「花火の化学」販売中！



岳川学芸員が、花火の化学をわかりやすく解説しています。「花火の温度は何度?」「水の中でも花火ができる?!」などの疑問にもお答えします!これを読めば、きっと新しい花火の世界が広がります。夏休みの自由研究にもおススメの1冊です。



- 大阪市立科学館ミュージアムショップにて100円(税込)
- 著者:岳川有紀子(大阪市立科学館学芸員)
- ミュージアムショップ開店時間10:30～17:00



会場:大阪市立中央図書館 2階閲覧室

化学の目で見える花火展

6月17日(金)～8月17日(水)

大阪市立中央図書館と大阪市立科学館が、初めてコラボ展を開催します。大阪市立科学館が所有する花火の化学に関する資料と、大阪市立中央図書館が所蔵する花火に関する資料を通して、花火の新しい世界にみなさまをご案内します。

(右) 錦絵12組からなる『大阪名所』(1895-1897刊)より「天神祭舟御渡り」(編輯兼彫刻者 大室音吉、印刷兼発行人 古島竹治郎)。天神祭船渡御の様子が描かれ、空には打ち上げられた花火が光っています。



大阪市立中央図書館蔵

会場:大阪市立中央図書館

- 開館時間
月曜日～金曜日(第1・第3木曜日は休館)9時15分～20時30分
土曜日・日曜日・祝休日 9時15分～17時
- 休館日
毎月第1・3木曜日(国民の祝日と休日にあたる場合は開館)
- 共 催:大阪市立科学館、大阪市立中央図書館
- 協 力:葛城煙火株式会社
- 大阪市立中央図書館の案内はホームページでご確認ください
<http://www.oml.city.osaka.lg.jp/>
- 電 話 06-6539-3302

